

ロクハン製 e-トレインコントローラー(製品番号 C005、別売)と デジタルターンテーブル(製品番号 S037)の接続方法

デジタルターンテーブルは、容易に DCC 操作が可能になる、ロクハン製 e-トレインコントローラー(別売)に対応しております。
e-トレインコントローラー(別売)についての基本的なご説明、及びデジタルターンテーブルとの基本的な接続、操作方法については下記をご参照ください。
更に詳しくお知りになりたい場合は、e-トレインコントローラー(別売)に付属の取扱説明書をお読みください。

e -トレインコントローラー(別売)の操作には、別途タブレットやスマートフォンが必要です

① タブレットやスマートフォンへアプリをインストール

アプリは、iOS 端末の場合は App store にて、Android 端末の場合は Google Play store にて、
アプリ名“e-トレインコントローラー”をダウンロードしてください。(“ロクハン”または“rokuhan”で検索)



② アプリに関しての注意事項

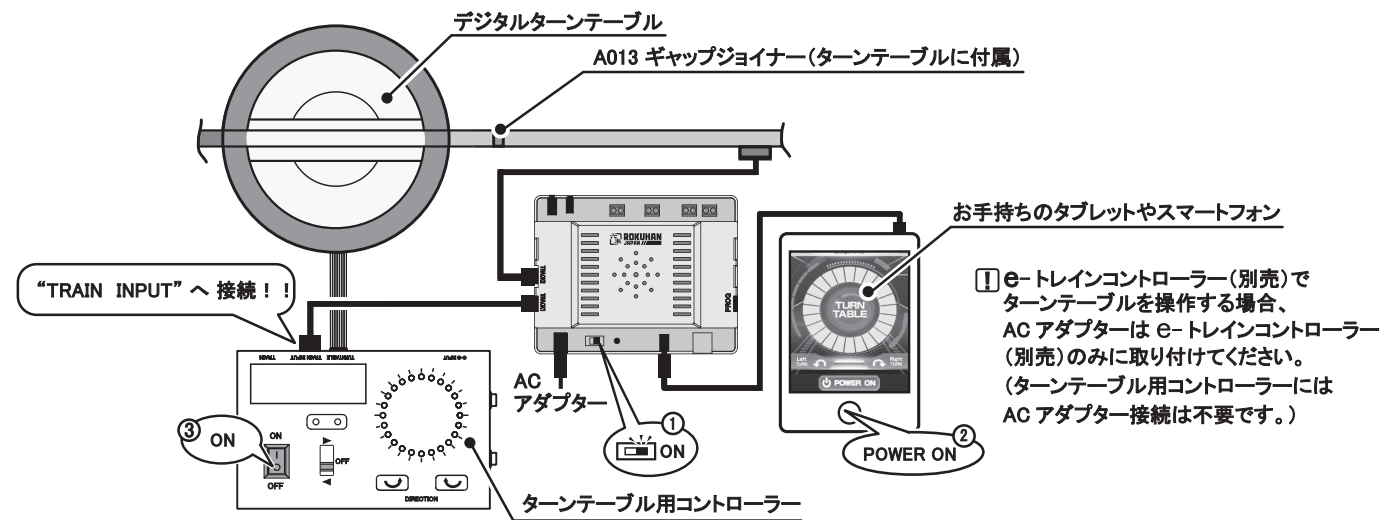
- 対応するタブレット端末に関する情報は更新される場合がございます。http://www.rokuhan.com をご確認ください。
- アプリは無料でダウンロードできます。あらかじめダウンロードして動作するか確認してください。アプリが対応していない機種やデコーダーに読み書き出来ない場合がございます。
- アプリをダウンロードする際の通信料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
- 本商品使用時に万が一データが消失しても弊社では責任を負いかねますので必ずデータバックアップを取ってからご使用ください。
- タブレット端末の操作方法や注意事項等については、タブレット端末付属の取扱説明書等に従ってご使用ください。
- タブレット端末は初期設定のままの場合、一定時間操作をしないと自動的にスリープ状態になり、この際にアプリが停止します。スリープモードを解除して操作を行ってください。

<アプリ対応 OS> ■iOS8.0 以上 ■Android OS 5.0 以上
<動作確認済み端末> ■iOS 8.4.1 iPhone5c ■iOS 9.3.2 iPhone6.0 ■iOS 10.2.1 iPad mini 4 ■Android5.1.1 Nexus 10 ■Android6.0 Galaxy Tab S 8.4 ■Android7.0 XPERIA SO-03G ■Android7.1 Nexus 9
機種によってアプリが対応してない場合がございます。あらかじめご了承ください。 ※2017 年 7 月現在の情報です。

e -トレインコントローラー(別売)とデジタルターンテーブルの接続、操作方法

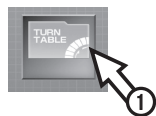
- e-トレインコントローラー(別売)で、デジタルターンテーブルを操作するに当たり、ポイントデコーダー等の取り付けや加工は必要ありません。
- デジタルターンテーブルはアドレス 200 番に固定されていますので設定は不要です。
- e-トレインコントローラー用アプリ上で、デジタルターンテーブルの編集や削除はできません。

【ステップ 1】 デジタルターンテーブルと e-トレインコントローラー(別売)の接続



【ステップ 2】 デジタルターンテーブルのアプリ操作

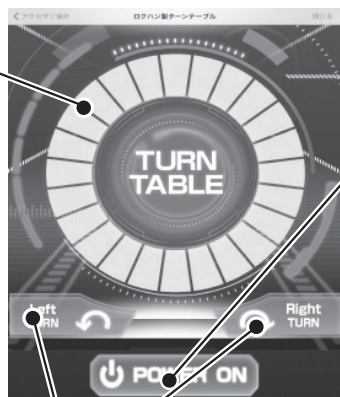
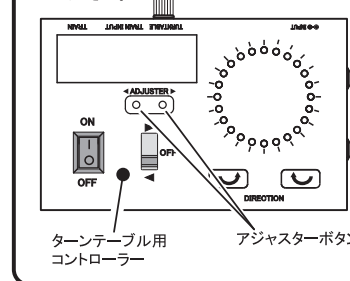
①アクセサリ操作画面時に表示されている
“ターンテーブル”アイコンをタッチします。



②デジタルターンテーブルの操作をします。

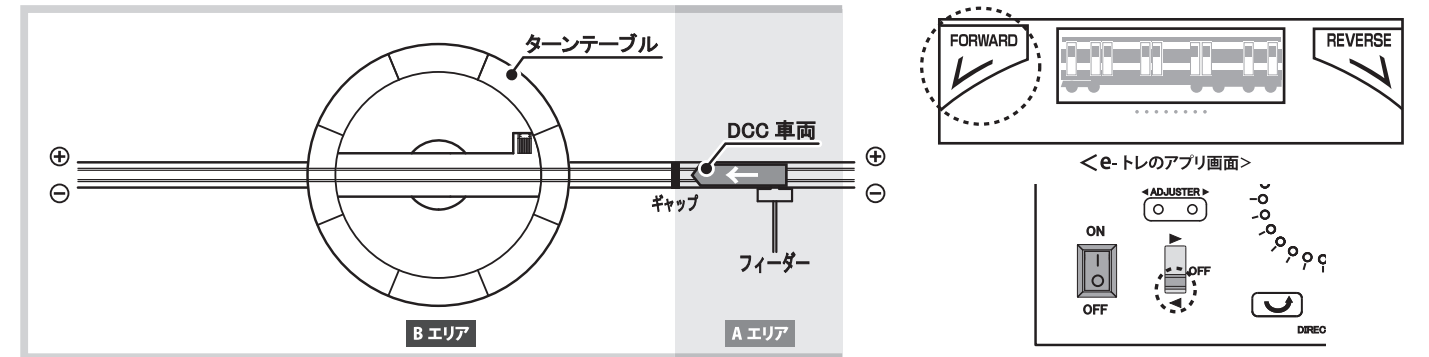
●ターンテーブルボタン
外周 24 か所がボタンになっています。ボタンを
押したところまでターンテーブルが回転します。

アジャスター(調整)操作について
アジャスター操作はアプリ上では出来ません。
ターンテーブル用コントローラーにて操作
してください。

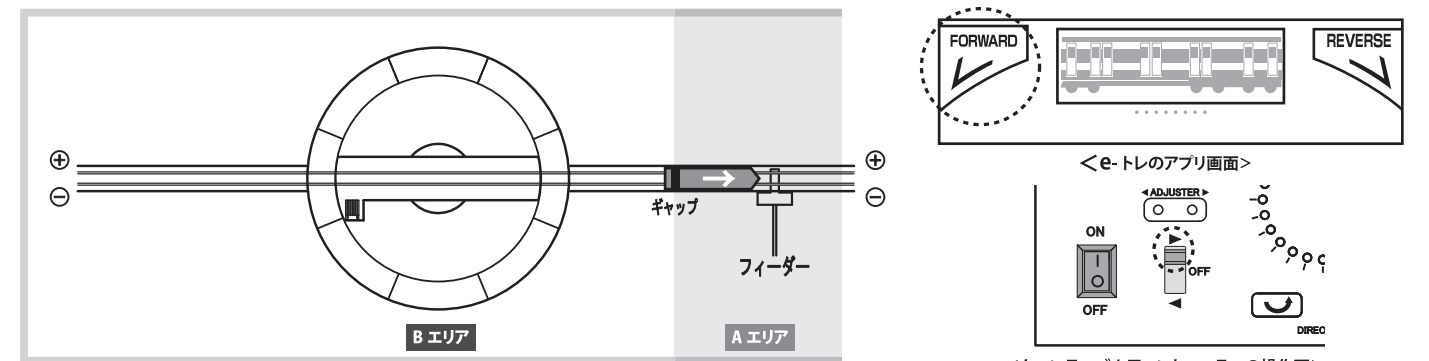


【ステップ 3】 デジタルターンテーブルの操作の具体例

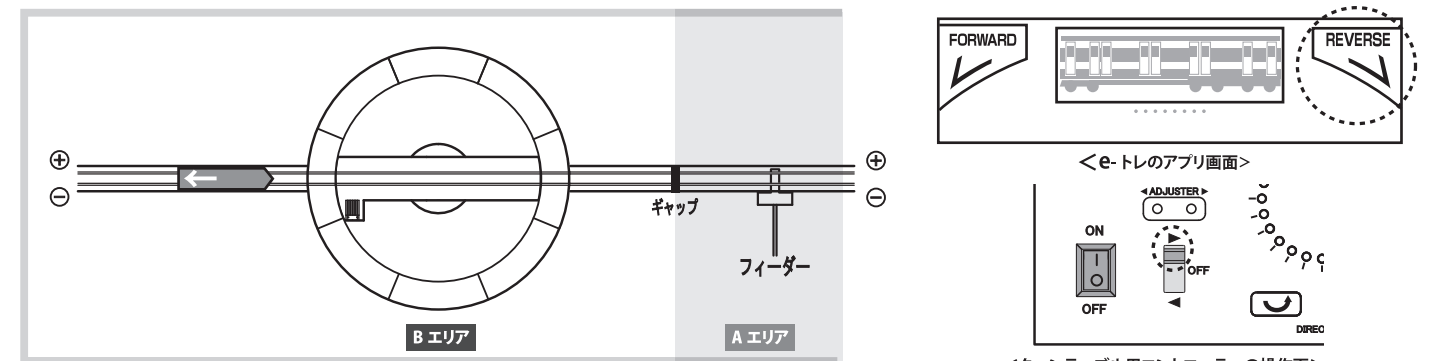
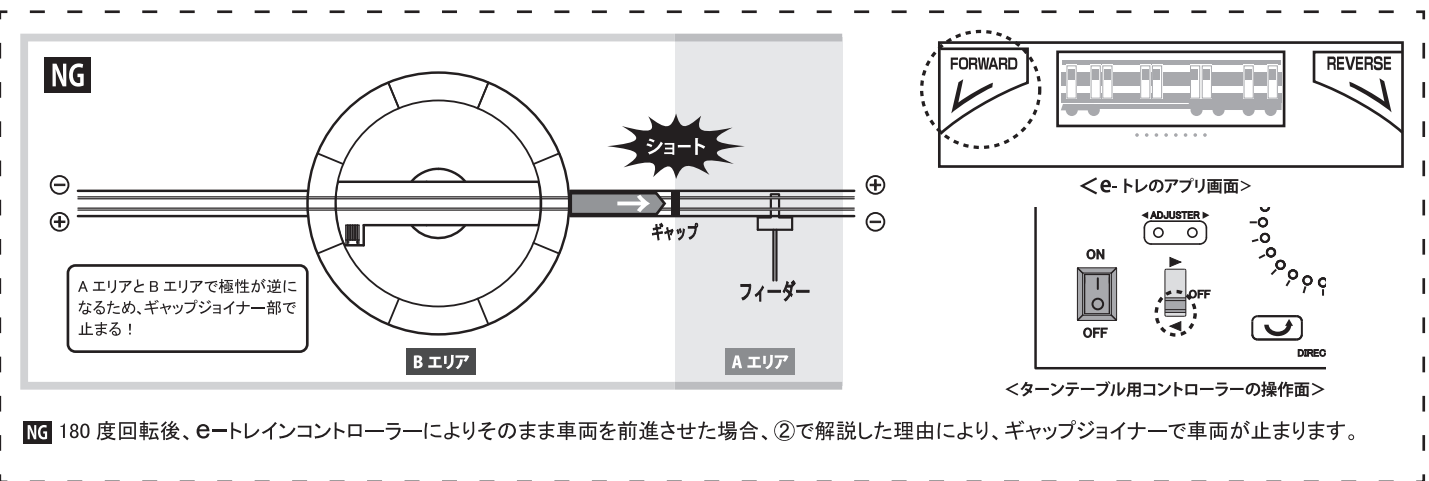
(ケーススタディ)



① DCC 環境ではレールには交流が流れ、その交流がデコーダーで直流化され、コントローラーからの信号を受けて、モーターの回転方向が決まります。この場合、レールにはあたかも直流の極性があるかのようです。車両を A エリアから B エリアに前進 (Forward) 進入させる際に、ギャップジョイナーを通過するには、B エリアと A エリアでの極性を同じにする必要があります。図の場合、ターンテーブル用コントローラーのディレクションスイッチを下側 ◀ に合わせると同じ極性になります。(イラストでは分かりやすく説明するために ⊕ と ⊖ で表記しています。実際には交流ですので極性が固定することはありません。)



② また、e-トレインコントローラーが接続されている場合、車両のコントロールは全て e-トレインコントローラーから行いますが、車両がターンテーブルに載り 180° 回転して、B エリアの極性が A エリアの極性と逆になる場合に、e-トレインコントローラーにより、DCC 車両を B エリアから A エリアへ前進進行させると、ギャップジョイナーでストップし進めません。これを解消するには、ターンテーブル用コントローラーのディレクションスイッチを上側 ▶ に合わせます。



③ 180 度回転後、車両をそのまま後退させる場合、②で解説した通りに B エリアでの極性を A エリアでの極性に合わせ (ターンテーブル用コントローラーのディレクションスイッチを上側 ▶ に合わせる)、e-トレのアプリ上で車両の進行方向を Reverse にし、進行させます。